

ながら

第33号

平成29年3月31日

発行

朝日大学職員協議会「ながら会」

題字

宮田 慶三郎

朝日大学職員協議会

「ながら会」冬季総会・懇親会

盛大に開催される

場 日 時 2016年12月13日(火)
所 岐阜都ホテル
参加人数 396名



ながら会新入会員

氏名	所属
河野 芳朗	歯学部
小園 千草	保健医療学部
桐山 啓一郎	保健医療学部
岩瀬 千尋	保健医療学部
白木 京子	保健医療学部
名和 祥子	保健医療学部
松井 陽子	保健医療学部
梶原 綾乃	留学生別科
横山 博信	留学生別科
藤田 尚子	入試広報課
田代 訓之	村上記念病院
中村 亜美	村上記念病院
荒田 恵	村上記念病院
棚橋 可愛	村上記念病院
松尾 有紀	村上記念病院
鈴木 麻衣	村上記念病院
豊田 詩緒里	村上記念病院
辻本 貴子	村上記念病院
渡邊 絵美	村上記念病院
長屋 亜美	村上記念病院
田中 秀幸	村上記念病院
林 優里	村上記念病院
大前 柚衣	村上記念病院
青木 美樹	村上記念病院
小林 加奈	村上記念病院
片岡 彩伽	村上記念病院
岡田 尚里	村上記念病院
遠藤 絹代	村上記念病院
大藪 愛	村上記念病院
杉山 正憲	村上記念病院
中村 智子	村上記念病院

氏名	所属
神山 明日美	村上記念病院
田口 真吾	村上記念病院
梅田 妃里	学事一課
徐 彬	経営
小金沢 大亮	障害者歯科
豊田 泰恵	小児歯科
佐藤 慶太郎	薬理学
木方 一貴	歯科保存学
尾関 康代	附属病院
山本 寛明	歯科補綴学分野
堀江 俊	口腔微生物
小金崎 大亮	障害者歯科
小杉 謙介	総合医科学
葛島 康平	歯科矯正科
吉田 洋康	歯科放射線学
西山 航	歯科放射線学
宮崎 渚	内科
近藤 雄三	インプラント
長屋 優里菜	歯科衛生部
今道 明美	附属病院看護部
清田 俊輔	経理課
山本 万由花	学事一課
篠田 響子	学事二課
土佐 忠磨	学事二課
亀谷 みゆき	法学部
杉山 英一	健康スポーツ科学設置準備室
井上 元輝	健康スポーツ科学設置準備室
森 啓示	健康スポーツ科学設置準備室
石原 大輔	PDI
山本 真由	PDI

※2017年3月現在のながら会会員費徴収者のうち、2016年4月～2017年3月31日採用者についてです。

編集後記

懇親会で要望の多かったテーブル賞の増加や料理メニューの改定など「改革」と呼ばれたながら会幹事も2016年度をもちまして、任期満了に伴い、交代となります。今年度も、日頃の会員の皆様のおアシスとしての情報提供を目指して参りましたが、残念ながら、いくつかの同好会の活動が困難な状況となっております。どうか今一度、「職員の、職員による、

職員のための朝日大学職員協議会」を目指して今後とも会員の皆様のご活躍を願いながら、次期幹事へとバトンタッチしたいと思います。2年間ありがとうございました。

2017年4月吉日
編集委員 永山元彦

夏季総会・懇親会

日 時：2016年6月23日(木)
 場 所：岐阜都ホテル
 参加人数：354名



ながら会 同好会だより

平成29年1月28日～29日の2日間にわたり、毎年恒例のスキー同好会・スノーボード同好会の合同ツアーを開催しました。

今年の合同ツアーの会場も、毎年と同様、奥飛騨の「ほおのき平スキー場」で、穂積キャンパス・附属病院村上記念病院の各部署から昨年の約2倍となる30名の会員およびご家族の方々に参加していただきました。今回初めて参加するという若い会員や、数年ぶりに参加するという会員が多くおられ、例年に比べても活気のある会となりました。

恒例の貸し切りバスにて朝日大学、村上記念病院PDI岐阜歯科診療所を回り、会員とその家族を乗せて現地へ向かいました。バス内では映画鑑賞をしながら話に花を咲かせ、大変楽しい道中となりました。宿泊は奥飛騨の旅館「田島館」。おいしい夕食に、源泉かけ流しで湯の華が咲く一重ヶ根温泉と一宝水温泉の露天風呂は会員からも大好評で、一晩で3回入った方もいらつしやったとか。

翌日は快晴の中、目立った混雑もなく、最高のコンディションでスキー・スノーボードを楽しむことができました。子供たちも普段見られない量の雪に興奮し、ソリ遊びを楽しんでおられました。滑り疲れた後はグレンデに併設されている温泉につかり、冷えた体を温めてから帰宅の途につきました。

今回のツアーにおきましても大きな事故もなく、普段の仕事にはあまり会うことのない各部署の方々としてのご家族たちとも長時間にわたり語り合うことができ、有意義な時間を過ごすことができました。来年度も、皆様に満足いただけるツアーを企画いたしますのでお気軽にご参加ください。皆様のご参加を会員一同お待ちしております！



スキー同好会・スノーボード同好会

スキー同好会

〔連絡先〕

住友伸一郎(会長)

(歯学部・口腔外科学分野)

スノーボード同好会

〔連絡先〕

後藤洋一(会長)

(村上記念病院・リハビリテーション科)

自然に親しむ会

夏季キャンプ

(伊豆半島を訪ねて)

2016年7月16日(土)から2泊3日の旅程で伊豆半島の夏季キャンプを行った。昨年に引き続き、バスで巡る豪華な旅になった。早朝に朝日大学を出発し、名神高速→新東名高速に乗って伊豆市伊東高原にそびえたつ大室山(標高580m)に向かった。リフトで登頂すると山頂にはきれいなすべり鉢状の火口痕がみられ、外側には360℃の大パノラマ、天城山、伊



東市、駿河湾、箱根の山々の絶景が広がっていた。その後、城ヶ崎海岸・門脇吊橋、さらに石川さゆりさんの「天城越え」で有名な伊豆市の浄蓮の滝と下流にある壮大なわさび田を訪れた。滝から帰りの階段を登って食べたわさびソフトクリームが美味だった。下田市の宿に泊まり、黒船ペリーの日米下田条約締結が行われた日米下田条約締結から、バスで西伊豆市堂ヶ島に向かった。遊覧船で海岸の洞くつ探検をした後、加山雄

三ミュージアムでご婦人会員の往年のアイドルを堪能した。河津七滝を散歩した後、2泊目の宿を伊豆市の土肥に取った。夕刻、ホテル前の海岸で投げ釣りを始めたところ、数尾のキスと青みがかった魚がかかった。後日調べたところ、青みがかったものの正体は「キタマクラ」とよばれる毒のあるフグ科の魚。食べないでよかったですと安心した。最終日は畝堀や障子堀で有名な三島市の山中城跡へ向かった。会員の一人の城研究家が高揚したようすで散策しておられた。その後、狩野川の支流で1.2kmの最も短い一級河川がある柿田川公園で湧水群を観察した。湧水は富士山の雨や雪が溶岩にしみこんだ後に湧いて出ているもので、とても神秘的な情景としてよくテレビ番組で紹介されている。信じられないくらいキレイな水が流れていた。

〔連絡先〕

柏保正典
(歯学部・歯科薬理学分野)

エアロビクス同好会

エアロビクスは走ったり跳んだり運動量が多く、とても大変だと思われる方がいらつしやるのではないのでしょうか。競技会ではないので、競技会ではないような演技が行われていますが、エアロビクス同好会では「ラジオ体操ができる人なら誰でもできる」有酸素運動を行っています。普段、あまり動かない生活ですと、最初のうちはついて

いくのも大変ですが、何回か通ううちに体が動くようになってきます。

当同好会は月に二回、水曜日の午後六時半からAUCクラブハウス女子更衣室内スタジオで活動しています。運動不足が気になる方、気分転換をしたい方、ご興味のある方は是非ご連絡ください。無理なく楽しみながら続けていける同好会です。

〔文〕

杉山明子

(歯学部・

口腔解剖学分野)

〔連絡先〕

大橋たみえ

(歯学部・

社会口腔保健学分野)

安藤美紀

(図書館事務課)



写真同好会

私が本格的に写真を始めたのは、今は無くなってしまったカメラメーカーのヤシカがドイツのカルツァイス社と提携し、カメラのデザインをポルシェデザイン社が担当したコンタックスRTSが発売され、プロ用大判カメラのハッセルブラッドでしか使うことができないドイツ製高嶺の花レンズが手に入ると飛び付いてしまったことに始まります。

しかし、良いレンズを手に入れても良い写真は撮れないのです。今考えれば当然のことです。そこで月一度プロの写真家の指導が受けられる教室を紹介していただき、約2年間教えていただいたことが現在も写真を続けている原動力です。30年前の記憶に残っている師匠の言葉は、「語れる写真を撮れ」です。1枚の写真の中に語れるストーリーを作ることとは本当に難しいことなのですが、この師匠の言葉は貴重な糧になっています。

色々な経緯の中でベンチャー企業を立ち上げるこ

とになり、紆余曲折の後Web制作の仕事をするこ
とになります。その中
も師匠から学んだことが、
撮影や映像加工の中に生か
すことができました。

ベンチャー企業でのWeb制作、そしてその延長線上で大学の授業で画像処理を担当するなど、趣味を超えて仕事で生かすことができたことは、前期高齢者となった現在を考えると、幸せな道を歩ませていただいたと思うべきなのでしょう。しかし、この幸せな道の裏側には波乱万丈の出来事が山積みで、妻に大変な負担を掛けてしまったという背景があるのです。もし私に文才があれば読者を涙無しでは読めない長編小説が書けるのですが。

さて、最近ではスマホやカメラの性能が良くなり、シャッターを押すとそれなりの写真が撮れてしまうために、良い写真と良くない写真という感覚が私たちと若者では、まったく異なるのです。自分がかわいく写っている写真が良い写真で、あくまで「かわいい」か

否かが価値の原点で、他人に評価してもらい、技術的向上するという欲求は無いのです。

携帯電話やスマートフォンによるネットワーク機能が、写真の目的を大きく変えてしまいました。そういう意味でも写真同好会という会の意義を見直す時期が来たのではないのでしょうか。

大変長い歴史のある会ですが、諸般の事情により写真同好会を一旦閉じさせていただくことになりました。この場をお借りしてお知らせをさせていただきます。



【文責】
田村 明
(経営学部)



昨今、スポーツに対する関心は東京五輪、平昌冬季五輪を目標とする多くのアスリート達の活躍を題材としたメディア等にて日々我々の日常にまで浸透しつつあります。

そんな中、本会は主旨であるスポーツ観戦をすることにより自己啓発、ストレス発散、精神的健康増進、会員相互の親睦を高める、

を掲げ、例年通り体育会の応援を中心に活動しました。本会会員は全ての事業所、役職、学部、部署、体育会の垣根を越え、特に女性が増えてきました。これはスポーツ人気の高まりを表しているのでしょうか。また、お楽しみの懇親会を先日行い、ご多忙の中、宮田理事長、大友学長、瑞穂スポーツガーデン石樽理事長もご参加賜り、新入会員含め盛会の内に締めることができました。

幹事は大森(歯学部講師 toshi@dent.asahi-u.ac.jp)が仰せ付かっております。ご入会希望がございましたら遠慮なくご一報をくださいませ。

【連絡先】
大森 俊和
(歯学部・歯科補綴学分野)



芸術鑑賞同好会

2016年度、芸術鑑賞同好会は新規会員三名を迎えることが出来ました。そのうち二名は初の保健医療学部教員です。当会の主な活動はもちろん芸術を鑑賞することですが、その感動を他の会員と共有することもまた大きな喜びです。

本年度の活動は、美術展および音楽会の鑑賞を中心に行っております。中でも特に会員の間で人気が高かった企画は、次の四つです。

- (1)「ポストン美術館所蔵 俺たちの国芳」
わたしの国貞
名古屋ポストン美術館
- (2)「特別展 ザ・ベスト@トクガワ」
徳川美術館
- (3)「ゴッホとゴーギャン展」
愛知県美術館
- (4)「永青文庫 日本画の名品」
名古屋市美術館

(1)が圧倒的人気であったことから、本年度発表された名古屋ポストン美術館2018年度末閉館というニュースに、会員諸氏の心が動いたのではないかと推



察します。芸術の世界は楽しく、興味が尽きません。これからも多数ご参加いただけるよう、様々な企画を立案して行きたいと思っております。

【文責・連絡先】
安藤 美紀
(図書館事務課)



ゴルフ同好会

第48回朝日大学ながら会ゴルフ同好会ゴルフコンペの開催について

本ゴルフ同好会は、2016年9月19日(月・敬老の日)に岐阜関カントリークラブにおいて第48回ゴルフ同好会ゴルフコンペを開催しました。

当日は、台風第16号が接近する中、一日中雨の中のプレーを覚悟しておりましたが、奇跡的にほぼ雨に降られない状況で、宮田理事長、大友学長、明海大学からは申基 苗周病科教授、中山浩之事務局長のほか総勢30名が参加するゴルフコンペとなりました。本コンペは、10時10分から宮田理事長と大友学長のお二人による始球式後、8パーティーに分かれ、皆熱心にプレーをしました。

なお、同コンペの結果(優勝・準優勝)は、次のとおりでした。

- 優勝 明海大学 苗周病科 教授 申 基 苗
- 準優勝 理事長 宮田 淳



【連絡先】
都尾 元宣(会長)
(歯学部・歯科補綴学分野)
古泉 尚
(附属病院事務課)



スポーツ応援同好会

硬式テニス同好会



は、お気軽にお尋ね下さい
(歯周病・金山まで)。

【連絡先】
金山圭一
(歯学部・歯周病学分野)

2016年11月20日(日)朝日大学テニスコートにて、合同練習会と親睦テニス大会を企画しました。当日は天候に恵まれ、コンディションの良い中で合同練習・試合が開催されました。多数の参加があり合同練習の後、ダブルスでのテニス大会を行いました。

初対面同士にわかペアも、プレー中にアドバースしあったり互いのプレーに一喜一憂したり賑やかな中、熱戦が続きました。大会の結果は川地(附属病院)長屋(歯科衛生士部)、川地(歯科保存学)野々垣(歯科補綴)が優秀な成績をおさめました。

大会後は引き続き懇親会を開き、親睦を深めました。会員同士でテニスの練習を約束する姿も見られ、歓談も弾んでいました。

次年度からは活動形式を変え、毎月コートを借りて定期的な練習会を開く予定でいます。硬式テニス同好会は、経験者、初心者問わず大歓迎です。定期的な練習会に参加ご希望のかた



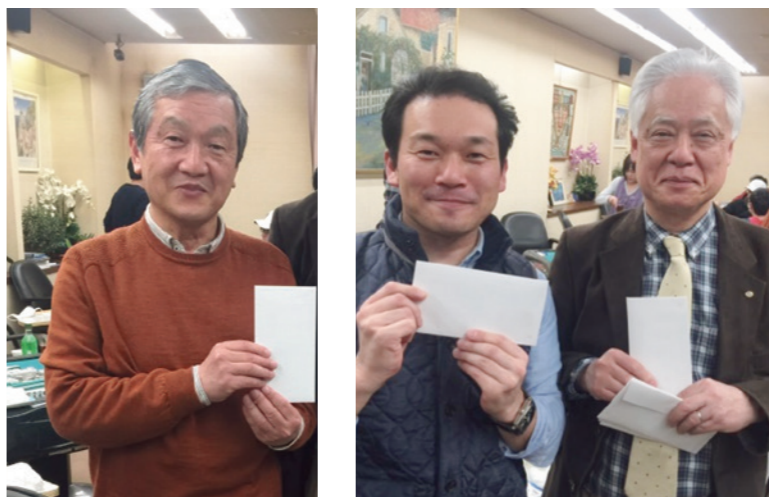
麻雀同好会



【連絡先】
山内六男
(歯学部・歯科補綴学分野)

麻雀同好会は、麻雀大好きな教職員ばかりではなく、年に総会だけでしか卓を囲まない教職員までが集まり、わきあいあいと麻雀を楽しむ会です。今年度も3月に総会を開催し会員で卓を囲みましたが、4名の新会員も参加して各会員が腕を競い合いました。その結果、優勝はR1の山口良三さん、準優勝は補綴科の山内六男、3位は補綴科の野々垣龍吾先生でした。

麻雀同好会の発会当時は松岡弘芳常務理事(当時)が世話人をされ、山内がその後を引き継ぎ、これまでもたくさんの会員に参加していただき、楽しく会を続けてきました。しかし、今の日本の人口と同じく麻雀同好会にも高齢化の波が押し寄せ、大学を退職する会員も多くなり、会員の確保に苦労しております。ながら会の会員におかれましては、麻雀同好会に参加して麻雀を楽しんでみませんか？麻雀経験のない方でも大歓迎ですので、お問い合わせは山内(内線1517)までお願いします。



囲碁将棋同好会



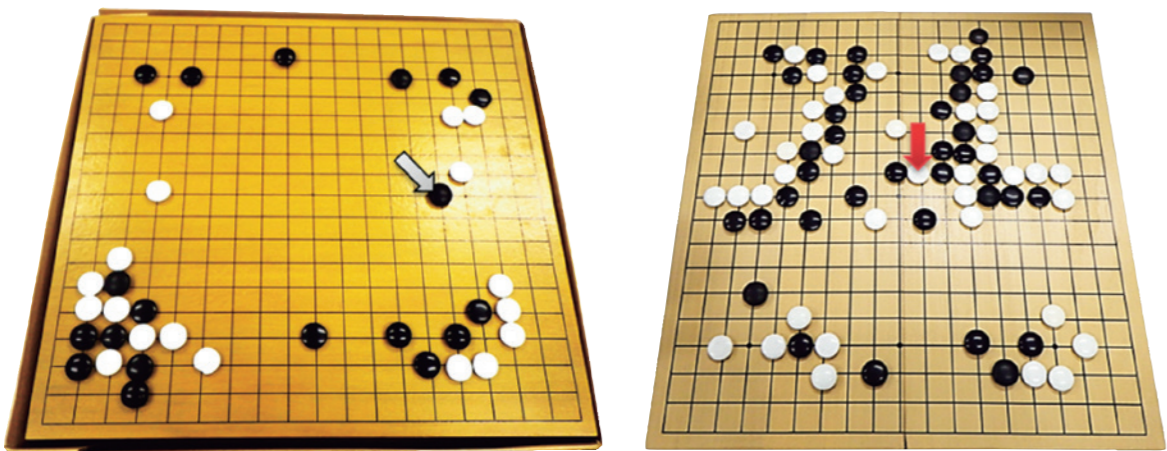
人類が作り出した中で最も複雑とされるゲーム、それが囲碁です。東アジアを中心に古くから行われてきた囲碁は、局所戦を考へぬく思考力と大局を戦略的に進める力が求められるゲームです。教育やビジネスに必要な総合的な頭の良さが養われることから、現在、東京大学などでも教養科目として取り入れられています。思考・直感・判断力を求められる複雑性から高い計算力の人工知能(AI)でもプロ棋士に勝つことは難しいと思われて来ました。しかし、ちょうど1年前の昨年3月、当時世界2位の棋士(イ・セドル(韓国))とDeepMind(Google関連会社)が作った囲碁AI:AlphaGoの対戦が行われ、AlphaGoが4勝1敗で勝利するという歴史的な瞬間がありました。この対戦はしかし、その後プロ棋士とAIプログラマの双方を大いに刺激し、現在新しい囲碁の可能性が展開されようとしています。

さて、本会では2016年度の活動として7月に教

職員囲碁大会への参加と3月に日本棋院中部総本部所属プロ棋士による講習会を行いました。第33回中部地区大学教職員囲碁大会は2016年7月3日(日)に日本棋院中部総本部にて行われチーム全員の勝率によって大学間で順位を競いました。残念ながら、今年度の大会で朝日大学チームは入賞を逃しました。また昨年度に引き続き2017年3月8日に日本棋院中部総本部所属の鶴田和志四段に來学して頂き講義解説していただきました。その時解説をして頂いたのが、上記のAlphaGoとイ・セドル棋士の歴史的対戦でした。前者は通常のプロ棋士が1万分の1の確率でしか打たない悪手を、AlphaGoが重要なタイミングで重要な手と直感して打ったものです(下図左)。AIが教師であるヒトの知能とはかけ離れた新しい歴史的1手こそがこの第2局37手目でした。しかしすぐにAlphaGoも敗れます。第4局でセドル棋士が逆にAlphaGoがプロ棋士が1万分の1の

確率でしか打たないと思つた悪手」を78手目で打ち放ちました(下図右)。この見事な意趣返しの一手法によってAlphaGoは混乱し、ついに101目で投了しました。プロ棋士が見逃していた1手の可能性、そしてAIが見逃していた1手の可能性、この2手からAIと人類の囲碁の新しい歴史が始まっています。古くから新しい囲碁、朝日大学では古くから囲碁好き将棋好きの先生が本会で活躍されてきました。会員の皆さまの中で囲碁に興味をお持ちの方は、ぜひ本会への参加をご検討下さい。

【連絡先】
矢野航
(歯学部・口腔解剖学内線・1521)



鶴田和志4段(日本棋院中部総本部所属)による囲碁講座の風景
(左) AlphaGoが直感に基づいて指した一手(第2局・黒37)
(右) AlphaGoを惑わせたイ・セドルの一手(第4局・白78)

今年度の釣り同好会は、10月30日曜日に愛知県知多郡の師崎港から出船する明神丸を貸し切り、朝日大 学病院と村上記念病院、事務課などからの計7名の仲間と真鯛釣りに出かけた。今回同好会メンバーたちの勧誘の甲斐もあり船釣り初体験の会員も2名参加していただけた。

「エビで鯛を釣る」と言うことわざがあります。実際に、師崎港での真鯛釣りは、ウタセエビという生きエビをエサとして使用する。ただことわざの意味の「少しの事柄や努力で大きな事や利益をえること」というようなことはなく、エサの付け方や魚の誘い方法など鯛を釣り上げるにはなかなか高度なテクニックが必要となるのである。エサの付け方としては、釣針をエビの顎の下付近からツノの付け根に抜き、針先を1〜2mm出して止めるのが基本である。簡単なようだが、波に揺れる船の上、生きて暴れるエビに針を刺すのは難しく、上手く付いていないと潮の影響などでエビが

回ってしまい、仕掛けが絡まったり、もちろん魚も寄ってこないものである。船長の掛け声で一斉にエサをつけて投入、タナを合わせ、魚を誘い、当たりを待つ、いくつかの工程を適切に完了できないと釣りあげることは不可能で、それ故に釣りあげた時の喜びはひとしおである。

そもそも真鯛は、日本では非常に馴染みの深い魚で、赤い色がめでたいとして、お祝いの席でよく出される。中でも天然真鯛は、身も締まり、ほどよく脂がのっていて、上品な甘みと適度な歯ごたえがあるため、刺身、昆布締め、塩焼き、煮付け、蒸し焼き、干物、混ぜご飯など様々に調理される。表面が非常に頑丈な鱗で覆われており、ひれのトゲが固く危険であることから、さばくのに苦労を要するが、私にとってはさばくのもまた楽しみの一つである。今回の釣果は、真鯛、ハマチ、マタカ、ホウボウ、ウマズラ等、全員で90匹程度、初心者もいる中、大成功であった。

釣りに少しでも興味がある方、美味しい魚を食したい方、2017年度の同好会活動に是非ご参加ください。初心者でも構いません、ベテランの会員が揃っておりますので、指導もさせていただきます。それでは来年度も大漁でありますように。



【連絡先】
野々垣 龍吾(代表)
(歯学部・歯科補綴学分野)



研究留学記

カリフォルニア大学
ロサンゼルス校 歯学部
歯学部歯科保存学分野 河野 哲

私は、2015年10月より2017年2月末までアメリカのロサンゼルスにあるUCLA歯学部 (University of California Los Angeles, School of Dentistry) へ研究留学する機会をいただきました。

UCLAのあるロサンゼルスはカリフォルニア州の西部に位置し、人口392万人、面積1,302km² (参考: 東京都23区の人口937万人、面積619km²、岐阜県の人口206万人、面積10,622km²)で、年間300日近く晴天が続く穏やかな気候です。ロサンゼルスは観光地としては、Beverly Hills、Santa Monica & Hollywood、2大有名テーマパーク (Disneyland & Universal Studios) を含み、アメリカの4大メジャースポーツの野球 (Los Angeles Dodgers)、バスケットボール (Los Angeles Lakers)、アメリカンフットボール、アイスホッケーの拠点を、映画・音楽などのエンターテインメントや、ファッションなどの最新情報発信地でもあります。

UCLA歯学部は、1964年に設立され、約70名の歯学部教員が、Residentsとともに、教育、研究

臨床に従事しています。朝日・明海大学とは姉妹校であり、20年以上の交流が続いています。

さて私は、「ヒト歯髄幹細胞を用いた歯髄再生療法」というテーマで研究留学致しました。簡単に説明致しますと、皆様は、熱いものを口に含んだ時に歯が痛くなる、あるいは何もしていない時に歯がズキズキした経験はありでしょうか？その時の治療法は、歯の中にある神経(歯髄)を削りと読みます。実際には神経や血管を含んだ組織(歯髄)を取り除くこととなります。一度、歯の中の歯髄を取り除いてしまうと、歯に栄養が行き渡らないため変色したり、脆くなり噛むことにより歯が破折する可能性もあります。歯髄を取り除くことは治療法として古くより確立しているにもかかわらず、先に挙げた弊害も認められます。そこで歯髄を取り除いた歯の内部に、幹細胞を移植して歯髄の再生を促すという画期的なテーマを与えられました。渡米直後より研究が開始されるかと思いきや、1か月近く、私個人のIDカードが発行されず、基本的な研究についてのトレーニングや動物を扱

うためのトレーニングを受けられなかったため、日中は、来年度の試験問題を作ったり、他のスタッフの研究を見学しておりました。そうこうしていると、アメリカでは11月末のThanksgiving Dayで4連休となり、その後は12月のクリスマスシーズン。完全に仕事セーブ状態になります。ですから、私の本格的な研究は、2016年1月からのスタートとなりました。

私の留学した研究室は、私の専門の歯内療法学の研究室ではなく、2016年6月までの18年間、UCLAの歯学部長であったNo-Hee Park教授が、彼の任期中にLaboratory of Viral Oncology and Aging Research (ウイルス腫瘍学・老化研究室) を新設され、そのラボに所属しておりました。No-Hee Park教授のもとに、3名の教授がおみえになります。Mo Kang教授(歯内療法学主任教授で、私がお世話になった先生です)、Reuben Kim教授、Ki-Hyuk Shin教授がそれぞれテーマを持って、研究者を雇って研究を行っておられます。

そして2016年の夏には、朝日

大学・明海大学の学生のUCLA短期研修の現地引率を拝命しました。通常ですと、それぞれの大学から学生5名、引率教員1名の計12名が、日本から各研修先に向かうのですが、今年は私がUCLAに留学中のため、朝日大学からの引率教員は不在となりました。通常ならUCLAでの研修に先立ち、日本で派遣学生との親睦を深め、色々情報収集を行い、現地に向かうというのが一般的ではありますが、今回は、私が留学中ということもあり、実際に学生達の顔を見ながらコミュニケーションをとることは叶いませんでしたが、ソーシャルネットワークの利用により、事前に連絡を取ることができ色々な指示が出せました。また、彼らが3年生の時に、講義や実習で担当していただいたので、面識はあり、非常に頼もしい男性五人組でした。

UCLAでの現地引率は、研究留学中の日常生活とは180度異なる夢のような10日間でした。毎日の講義終了後は、Dodgers Stadiumでのメジャーリーグ野球観戦、Universal Studios観光、Beverly Hillsの大豪邸でのBBQ、毎晩深夜まで続く様々なイベントと、ある意味、充実した楽しい、また暴飲暴食の10日間でしたので、この研修を終え、ロサンゼルス空港で学生達を見送った後、急に虚しさや寂しさと空腹感が襲いかかりました。

さて、Los Angelesで1年半半生活して感じたこと。それは日本に比べて偏見や差別が少ないということですね。UCLAのキャンパス内やラボを見渡すと、アメリカに行く前に想像していた、金髪の白人女性や背の高い黒人男性ではなく、アジア系、中近東系がほとんどだったというこ

とです(街中では中南米系が多いです)。また、私の友達の国籍は、イランとサウジアラビア。日本にいると、国の名前を聞いただけで、また、顔を見ただけで、避ける部分があるかと思えます。現に私もそうだったかもしれません。しかし、実際は、私の拙い英語に彼らは理解し優しく接してくれます。このように、アメリカで生活できたからこそ感じたこの想いは、日本に戻ってからもち続けようと心に誓っています。

最後になりましたが、研究留学という貴重な機会を与えてくださった宮田理事長、大友学長をはじめ、私の留守中の学生教育、臨床を引き受けてくださった研究室のスタッフ、そして精神的なサポートをしてくださった皆様に心より感謝申し上げます。



Santa MonicaとDodgers Stadium



私のお別れパーティーをKorean BBQのお店で開催してくれました。

2015年10月：旅立つ前の中部国際空港にて。



2017年2月：帰国後の中部国際空港にて。私は幸せものです。



Hollywoodサイン前で。



Krebsbach新歯学部長と朝日大学の短期研修学生5名との一枚。



私のボスであるMo Kang教授。私以上に大きな方でした。



UCLAの象徴であるRoyce Hall。2016年6月、宮田理事長、大友学長、安井明海大学学長がUCLA歯学部の卒業式に参列されました。



「ながら会」規約

【名称】
第1条 本会は、朝日大学職員協議会「ながら会」と称する。

【目的】
第2条 本会は、学校法人朝日大学(以下「本学」という。)とその職員が、建学の精神に則り、相互に相手方の立場を尊重し、かつ、理解と信頼を深め、本学の発展のため必要な協力をするに並びに会員相互の親睦と会員の福利厚生の上を旨とする。

【事業】
第4条 本会は、その目的を達成するため次の事業等を行う。

【役員】
第6条 本会に、次の役員を置く。

【会員資格】
第3条 本会は、本学に勤務する者で1年を超える期間、常時雇用される者をもって組織する。ただし、本学特別契約職員規程に基づき採用された職員、本学嘱託職員規程及び本学

パートタイマー規程に基づき採用されている職員で週4日以上勤務する者は会員資格を有するものとする。

2 本学の役員及び参与は、会員資格を有しないものとする。

3 本会の会員資格を有する者は、入会届を第10条に定める幹事会に提出し、本会の会員となることができる。

【本部及び支部】
第5条 本会は、事務所(本部)を朝日大学内に置く。

2 本会は、穂積事業所、附属病院事業所及び附属村上記念病院事業所にそれぞれ支部を置く。

【役員】
第6条 本会に、次の役員を置く。
(1) 幹事 14名以上19名以内
(2) 監査委員 3名以内
(3) 幹事のうち1名を代表幹事とし、幹事総数の過半数の議決により選任する。ただし、代表幹事の職を解任するときは、幹事総数の3分の2以上の議決によるものとする。
(4) 代表幹事の職務を助けるため、副代表幹事1名を置くことができる。副代

に必要なこと
2 前条の定めにかかわらず、前項第1号に定める行事については、幹事会の決定により会員以外の者の参加を認めることができる。

3 協定書等により会員に対し効力の及ぶ事項及び会員に周知する必要がある事項については、掲示、回覧その他の方法により周知しなければならない。

【会費】
第22条 会費は、月額100円とし、毎月所定の期日までに納めなければならない。

【雑則】
第24条 この会則に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

【会社】
第21条 本会の会計年度は、毎年4月1日から3月末日までとする。

【助成】
第23条 本会は、会員相互の親睦を深めるため、諸行事を

【除名】
第20条 会員に次の事項に該当する事由があるとき、総会は当該会員を除名することができる。
(1) 会費の支払いを3ヶ月以上怠ったとき
(2) その他本会の会員としてふさわしくない行為があったとき

【定期総会等】
第15条 総会は、定期総会を毎年12月に開催し、臨時総会は、幹事会が必要と認めるとき開催することができる。また、会員総数の5分の1以上の会員から要求があった場合、代表幹事は30日以内に総会を招集しなければならない。

【総会の組織等】
第14条 総会は、会員によりこれを組織する。
2 総会は、代表幹事が招集し、その議長となる。
3 総会は、会員の4分の1以上の出席がなければ会議を開き、議決することができない。委任状を提出した者は出席したものとみなす。

【役員の内訳】
第17条 総会は、役員に著しい非行その他役員としてふさわしくない行為があった場合には、出席した会員の3分の2以上の議決により、当該役員を解任することができる。

【本学との協議・決定事項】
第18条 会員からの意見、要望等の表明、伝達又は協議が必要な場合、代表幹事は、本会を代表して本学にその意見、要望を伝達し、また、本学と協議し、代表者間で署名又は記名押印し、協定を締結することができる。

【総会の開催】
第13条 総会は、この会則で定める事項を決議する。

【総会の審議事項】
第16条

【総会】
第13条

表幹事の選任、解任については前項を準用する。

【幹事の選任】
第7条 幹事は、次の各号に定める各事業所の各部門ごとに定めた数とし、各部門から相当な方法であらかじめ推薦された者のうちから総会において選任する。ただし、労働基準法第41条第2号に定める者は幹事となることができ

ない。

【代表幹事等の任務】
第9条 代表幹事等の任務は次のとおりとする。

(1) 代表幹事は、本会を代表し、会務を統括するとともに、各事業所について第4条第1項第3号の任務を行う。

(2) 副代表幹事は、代表幹事を補佐し、代表幹事に事故あるときはその任務を代行する。

(3) 本会に、庶務、会計を担当するため、幹事会の選任により庶務幹事、会計幹事を各2名置くものとする。

(4) 監査委員は、本会の業務監査及び会計監査を行う。

【支部幹事会】
第11条 幹事会のもとに、各事業所毎に支部幹事会を置く。

(1) 支部幹事会は、各事業所における第7条各号に定める各部門から選任された幹事により構成する。
(2) 幹事会は、各事業所のみに関する事項については、支部幹事会に議決を委ねることができる。ただし、支部幹事会における議決結果について、支部長は速やかに幹事会に報告しなければならない。
(3) 支部長は、各支部の幹事のうちから幹事会で選任する。

職 2名
(3) 附属村上記念病院事務職等 2名

【監査委員の選任】
第8条 監査委員は、本会の会員で、幹事会において推薦された者のうちから総会において選任する。

(1) 総会に提案する事項
(2) 総会で決議された事項の執行について必要な事項
(3) 会員資格の審査
(4) その他本会の目的を達成するため必要な事項

3 幹事会は、代表幹事が招集し、その議長となる。
4 幹事会は、過半数の幹事が出席しなければ会議を開き、議決することができる。

5 幹事会の議決は、出席幹事の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

【会費】
第22条 会費は、月額100円とし、毎月所定の期日までに納めなければならない。

【雑則】
第24条 この会則に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

【会社】
第21条 本会の会計年度は、毎年4月1日から3月末日までとする。

【助成】
第23条 本会は、会員相互の親睦を深めるため、諸行事を

【除名】
第20条 会員に次の事項に該当する事由があるとき、総会は当該会員を除名することができる。
(1) 会費の支払いを3ヶ月以上怠ったとき
(2) その他本会の会員としてふさわしくない行為があったとき

ながら会 幹事			
澁谷 俊昭 (歯学部)	永山 元彦 (歯学部)	小石 スエ子 (事務局)	中嶋 さつき (歯科衛生士専門学校)
岡 壽修 (法学部)	小石 スエ子 (事務局)	小池 美江 (事務局)	迫田 弓子 (医療職)
小池 美江 (事務局)	中嶋 さつき (歯科衛生士専門学校)	岡本 珠美 (事務局)	川 清美 (医療職)
岡本 珠美 (事務局)	迫田 弓子 (医療職)	灰田 有 (経営学部)	江崎 和美 (医療職)
灰田 有 (経営学部)	江崎 和美 (医療職)	田中 季実子 (事務局)	北浦 里香 (医療職)
田中 季実子 (事務局)	北浦 里香 (医療職)	小 鹿 智子 (事務職等)	横山 裕 (事務職等)
小 鹿 智子 (事務職等)	横山 裕 (事務職等)	今 泉 佳宣 (教育職)	石 優子 (事務職等)
今 泉 佳宣 (教育職)	石 優子 (事務職等)	石 河 真紀 (保健医療学部)	